

令和8年度後期 武蔵野市寄付講座

市の寄付によって大学が開設する特設講座で、大学のキャンパスで一般学生と一緒に受講します。後期は、亜細亜大学・成蹊大学・東京女子大学の3大学で全て金曜日に開講します。各大学の講座内容や日程などご確認のうえ、お申込みください。

亜細亜大学「法と文学」

コーディネーター：池田 明子（法学部准教授）木原 浩之（法学部長、法学部教授）
田中 謙一（法学部教授）

日時：10月9日～令和9年1月15日金曜（全13回）午後3時15分～5時

成蹊大学「AIと一言でいうけれど」

コーディネーター：村松 大吾（理工学部教授）

日時：9月25日～令和9年1月22日金曜（全14回）午後3時5分～4時45分

東京女子大学「作品でたどる歌舞伎の歴史」

コーディネーター：光延 真哉（現代教養学部教授）

日時：9月18日～令和9年1月22日金曜（全15回）午後1時15分～2時45分

- ・講師・日程・テーマ等が変更になる場合があります。講座の詳細は、自由大学通信Vol.91、武蔵野地域自由大学WEBサイト、武蔵野プレイスWEBサイトでもご覧いただけます。
- ・令和7年度8月1日以降受診の健康診断書または肺がん検診結果票の写し等を期間内にご提出いただきます。ご了承の上お申し込みください(P3参照)。
- ・武蔵野地域自由大学ポイント付与対象講座です。4分の3以上の出席（受講）で、1ポイントが付与されます。

▶募集要項

- 対象：18歳以上で武蔵野市内在住・在勤・在学の方および武蔵野地域自由大学学生
- 定員：各大学50名(超えた場合は抽選)
- 費用：各大学5,000円
- 申込方法：以下の①～④のいずれかの方法でお申込みください。(自由大学学生以外の方は①～③)
 - ①「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」から申込み お申込みはこちら
(URL:<https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>)
※武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名を備考欄に明記してください。
※WEBサイトでお申込みの場合、抽選結果は各自申込サイトでご確認ください。
 - ②ハガキに[希望大学名、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、生年月日、武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名、自由大学学生は学籍番号]を明記のうえ、自由大学事務局「寄付講座」係へ郵送
 - ③直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口にて申込み
 - ④自由大学学生の方は、自由大学事務局へ電話で申込み可(0422-30-1904)

●申込期間：6月25日(木)～7月24日(金)必着

●抽選結果公開：8月4日(火)～各大学初日 ※当選者には結果通知を郵送します。

お申込時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

[主催] 武蔵野市

[お問合せ] 武蔵野地域自由大学事務局

〒180-0023 武蔵野市境南町2-3-18 武蔵野プレイス 電話:0422-30-1904

公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう
武蔵野文化生涯学習事業団

ひと・まち・情報 創造局
武蔵野プレイス



武蔵野プレイス
WEBサイト



自由大学
WEBサイト



亜細亜大学「法と文学」

9回以上出席で1ポイント



コーディネーター：池田 明子（法学部准教授）

木原 浩之（法学部長、法学部教授）田中 謙一（法学部教授）

曜日・時間：金曜（全13回）午後3時15分～5時

本講義では「法と文学」というテーマを基軸に、各担当者が法学あるいは文学の立場から、毎回異なる文学作品および作家を考察する。

「法と文学」という研究領域は、「法の中の文学（あるいは文学としての法）」と「文学の中の法」という二つの視点を提示し、法学と文学という研究の双方に新たな視点をもたらすことを目的とする。前者では、法廷弁論や判決文に見られる物語性や修辞表現を分析し、そこにおける言葉の力を理解することで、法が無味乾燥な規範体系ではなく、物語性をもって人々を説得し、正義を形づくる営みであることが確認できる。これに対し、後者では、文学作品に描かれた法や裁きの表象を手がかりに、法が人間に与える不安や希望、さらには共同体との関わりを、作品あるいは作家が生まれた時代の文化や社会状況を踏まえて読み解く。また、両者の交差点に立つテーマとして「正義と解釈」の問題が挙げられるが、法がその解釈を通じて異なる結論を導き得るように、文学作品もまた多義的な解釈を許容する。法と文学はいずれも、テキストをどう読むか、という前提を共有し、それらが存在する共同体に支えられているのだ。

回	月日	テーマ	講師
1	10月9日	ドストエフスキーとナボコフ	松本 賢信（法学部教授）
2	10月16日	三島由紀夫と法	鹿島 秀樹（法学部教授）
3	10月23日	法による裁きと文学	本橋 哲也（東京経済大学名誉教授、国際演劇評論家協会日本センター長）
4	10月30日	法律からみたシャイロック	吉村 征洋（龍谷大学農学部准教授）
5	11月6日	“庶民のためのシェイクスピア”と近代日本 —19世紀英国からの受容と変容	内丸 公平（東洋大学文学部准教授）
6	11月13日	初期中世におけるイングランド人意識の形成 —法と文学とアイデンティティの関係性をめぐって	和田 忍（駿河台大学法学部准教授）
7	11月20日	逸脱と連帯の物語：分断を乗り越えるために	中村 麻衣子（東京都立大学大学教育センター准教授）
8	11月27日	法と言語と文学と英語教育 —コーパス言語学からの示唆—	阿久津 純恵（東洋大学福祉社会デザイン学部准教授）
9	12月4日	「不法」移民を描くこと —ハイチ系アメリカ人作家エドウィージ・ダンティカの『愛するものたちへ、別れのとき』（2007）を読む—	杉浦 清文（中京大学国際学部教授）
10	12月11日	法と現代英米文学 ～現代は本質的に悲劇の時代である～	小田島 恒志（早稲田大学文学学術院教授）
11	12月18日	庄司薫の『赤頭巾ちゃん気をつけて』における60年代学生運動と東大法学部	ジェームス・ドーシー（ダートマス大学 Asian Societies, Cultures, and Languages 学科准教授）
12	1月8日	法と時代劇 —江戸時代の裁判制度・お裁き—	檀上 弘文（法学部教授）
13	1月15日	法律書としての旧約聖書	田中 謙一（法学部教授）



成蹊大学「AIと言でいうけれど」

10回以上出席で1ポイント



コーディネーター：村松 大吾 (理工学部教授)

曜日・時間：金曜 (全14回) 午後3時5分～4時45分

現在「AI」という単語は日常的に利用されている。しかし一言でAIといっても様々な技術が存在している。本講義では、AIに関連する、アルゴリズム、オペレーションズ・リサーチ、データサイエンス、コンピュータビジョン、パターン認識に関する研究について学ぶ。

回	月日	テーマ	講師
1	9月25日	オリエンテーション	村松 大吾 (理工学部教授)
2	10月2日	学習する人工知能	松田 源立 (理工学部准教授)
3	10月9日	生物多様性保全×データサイエンス	小森 理 (理工学部教授)
4	10月23日	アルゴリズムって何だろう？	山本 真基 (理工学部准教授)
5	10月30日	最適化する数学	奥野 貴之 (理工学部准教授)
6	11月6日	ゲーム感覚意思決定	関谷 和之 (理工学部教授)
7	11月13日	前半まとめ・後半ガイダンス	村松 大吾 (理工学部教授)
8	11月27日	AIで視る	西野 恒 (京都大学大学院情報学 研究科教授)
9	12月4日	3次元ビジョン技術とサイバー考古学	大石 岳史 (東京大学生産技術研 究所准教授)
10	12月11日	AIと複数のカメラで実現する視覚の未来：時空間のすべてを見たい時に見たいところから見る技術	斎藤 英雄 (慶應義塾大学理工学 部教授)
11	12月18日	歩容映像解析：歩きからわかること	八木 康史 (大阪大学D3センター 特任教授)
12	1月8日	AIによるデジタルヒューマン生成までの道程	森島 繁生 (早稲田大学先進理工 学部教授)
13	1月15日	人間拡張 ～人にAIが寄り添うことで、身体と心をパワーアップ	持丸 正明 (産業技術総合研究所 フェロー)
14	1月22日	AIで賢くなる	黄瀬 浩一 (大阪公立大学大学院 情報学研究科教授)



当選が決定した方の提出物 【提出期間：8月4日(火)～8月25日(火)】

当選者には、8月4日ごろ提出方法など詳細を郵送でご案内いたします。

ご案内を確認のうえ、上記提出期間中に武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口へお持ちください。

- ・費用…各大学5,000円 (必要書類提出時に、窓口でお支払いいただきます。)
- ・受講同意書…抽選結果通知に用紙を同封します。
- ・健康診断書…1大学につき1部。自治体で行われる健康診査でも結構です。※胸部レントゲン検査結果が含まれる、(写し) 肺がん検診結果票でも可。
【必須項目】①受診者氏名、②受診日(令和7年8月1日以降のもの)、③胸部レントゲン検査結果(フィルム不要)、④医療機関名
- ・証明写真…亜細亜大学のみ1枚(受講証用。スナップ写真不可。サイズ等詳細は当選のご案内でご確認ください。)

※健康診断書は、受診してから結果がお手元に届くまである程度日数を要します。上記受診日以降の健康診断書がお手元に無い方は、お早目に受診いただきご準備ください。また、証明写真・健康診断書等、受講手続きに要する費用は、受講者の負担となります。



東京女子大学「作品でたどる歌舞伎の歴史」

11回以上出席で1ポイント



コーディネーター：光延 真哉（現代教養学部教授）

曜日・時間：金曜（全15回）午後1時15分～2時45分

昨今の話題性のあるトピックスによって、歌舞伎を理解したいという欲求は高まっている。一方で、興味はあるものの、何やら得体が知れず難しそうというイメージで歌舞伎は敬遠されがちである。現代人がしばしば口にする「敷居が高い」がこれである。江戸時代に誕生した歌舞伎は、近代を迎え、古典としての道を歩み始めた。その傍らで歌舞伎は、時勢に合わせた変化を遂げながら、同時代のエンタメとしての機能も果たした。「敷居の高さ」は一側面に過ぎず、その歴史を知ることは、歌舞伎への正しい理解を促すことになる。この授業では、歌舞伎の代表的な作品を採り上げ、予め「ポイント」を解説したうえで舞台映像を鑑賞しつつ、歌舞伎の誕生から現在までの歴史的展開をたどる。歌舞伎の歴史についての正しい認識を得て、歌舞伎に対する「敷居の高さ」を解消することを目指したい。

回	月日	テーマ	講師
1	9月18日	概説・歌舞伎の歴史	光延 真哉 (現代教養学部教授)
2	9月25日	『心中天の網島 河庄』 —近松門左衛門と元禄歌舞伎—	
3	10月2日	『助六所縁江戸桜』 —二代目市川団十郎と荒事芸—	
4	10月9日	『義経千本桜 河連法眼館』 —人形浄瑠璃から歌舞伎へ—	
5	10月16日	『伊賀越道中双六 沼津』 —歌舞伎から人形浄瑠璃へ—	
6	10月23日	『積恋雪関扉』 —初代中村仲蔵と天明歌舞伎—	
7	10月30日	『東海道四谷怪談』 —四代目鶴屋南北と化政歌舞伎—	
8	11月6日	『勸進帳』 —七代目市川団十郎の野望—	
9	11月20日	『与話情浮名横櫛』 —幕末歌舞伎の展開—	
10	11月27日	『三人吉三廓初買』 —江戸の河竹黙阿弥—	
11	12月4日	『雪暮夜入谷畦道』 —明治の河竹黙阿弥—	
12	12月11日	『元禄忠臣蔵 御浜御殿綱豊卿』 —真山青果の新歌舞伎—	
13	12月18日	『鬮売恋曳網』 —三島由紀夫の新作歌舞伎—	
14	1月8日	『ヤマトタケル』 —二代目市川猿翁とスーパー歌舞伎—	
15	1月22日	『野田版 研辰の討たれ』 —十八代目中村勘三郎の挑戦—	